

NO.43



# あやめ通信



大人版  
10月号

## 小説

青木祐子『これは経費で落ちません！ 14』

五条紀夫『人喰いパンダ殺人事件』

畠中恵『おにがわらう』

河崎秋子『森田繁子と腹あんばい』

千早茜『燻る骨の香り』

川越宗一『縁切りの宿』

## 実用書

河内春人『継体天皇』

今村顕史『ウルトラ図解性感染症』

アメミヤユウ『ワールドライズ』

赤木かん子『美術館にいったみた』

宇井眞紀子『アイヌ、現代の肖像』

他9冊

松本俊彦『「やめられない」をどうするか』

JUNZO『人生ドラクエ化マニュアル』

高木崇世芝『北海道の歴史に関する文献目録』

※今年度は医療関連の資料更新と、大活字本やLLブックといった誰にでも読みやすい本の新規購入に力を入れております。ぜひご利用下さい。

## 今月の1冊

鴻池留衣

『純文学って何だよ』

じゅん-ぶんがく【純文学】①広義の文学に対して、美的情操に訴える文学。すなわち、詩歌・戯曲・小説の類をいう。②大衆文学に対して、純粋な芸術を指向する文芸作品、特に小説。（新村出『広辞苑 第7版』岩波書店 2018年より）

先月紹介しました『ツィゴイネルワイゼン』の著者、内田百閒。その小説作品は多くが純文学にカテゴライズされるようですが、「純文学」とは何でしょう？辞書的意味合いは上記のとおりですが、「美的情操に訴える文学」「純粋な芸術を指向する文芸作品」とはいったいどういうものを指すのでしょうか？

今月紹介する鴻池留衣『純文学って何だよ』は、現役作家鴻池留衣が最前線で活躍する小説家9人を酒場に招集し、謎に包まれたジャンル「純文学」を解剖する、純文学入門にぴったりのガイドブックです。

●酒場に集められた9人とその代表作

高瀬隼子『おいしいごはんが食べられますように』

町屋良平『1R1分34秒』

高山羽根子『首里の馬』

砂川文次『ブラックボックス』

石田夏穂『我が友、スミス』

尾崎世界観『母影』

川本直『ジュリアン・バトラーの真実の生涯』

永井みみ『ミシンと金魚』

田中慎弥『共喰い』

# 休館日・イベント予定

## ● 10月の休館日

10/5(月)、10/12(月)、10/19(月)、10/26(月)

## ● あつめてつながろう！図書館WEBラリー

・10/1(木)～11/29(日)

・北海道の7つの図書館が力を合わせてクイズラリーを開催します。  
それぞれの図書館の ホームページに隠されたヒントを手がかりに、  
「ヒミツの言葉」を完成させよう！

正解者には限定プレゼントもあります！詳しくはこちらから→



## ● まんベシネマ『映画 すみっコぐらし 青い月夜のまほうのコ』

・10/10(土) 10:30～11:40

・学習文化センター 2階 AV室

・途中入退場 ・声出し OK！

・とある秋の日、キャンプに出かけて行ったすみっコたち。空を見上げると、  
いつもより大きく 青く輝く月が。

**「5年に1度おとずれる、青い大満月の夜。魔法使いたちが町にやってきて、  
夢を叶えてくれる」**

伝説のとおり、すみっコたちの町に魔法使いが舞い下りてきた！



## ● 長万部中学校吹奏楽部定期演奏会

10/31(土)

・学習文化センター 文化ホール

## ● 警察音楽隊訪問演奏

11/1(日)

・学習文化センター 文化ホール

